

日本語の男性語と女性語の違いについて

アンドリュー・サイモン・バージ

1. はじめに

ニュージーランドでは男性語は女性語とだいたい同じです。私は日本に来るまで日本でも男性語は女性語とだいたい同じだと思っていました。

私がニュージーランドで習った日本語は男女両用でした。たとえば、「ぼく」はとくしゅな言葉で男性しか使えない言葉で女性に使えないことを私は教えられませんでした。使った教科書の大部分が男女両用の言葉を使って、会話よりむしろ文を習っていました。したがって、男性語と女性語を比べるチャンスがあまりありませんでした。

だから、初めて日本に来た時、男性語と女性語の違いが多いのでびっくりしました。たとえば、とくしゅな言葉や文末の終わりの言葉です。そんな違いに興味を起こしました。

日本語らしい日本語を話すためには、この男女の言葉の違いをマスターする必要があるとおもいます。そのために、私は男性語と女性語の違いの興味が強くなりました。

だから、研究レポートのテーマを決める時、日本語における男性語と女性語の違いについて研究することにしました。

2. 男性語と女性語についての JESPERSEN, Otto の研究

JESPERSEN, Otto は、その名著「LANGUAGE」(初版1922年。7版1959年による)で次のように説明している。

i. 女性語 (Women's Language)

男性語と女性語とがまったく別の言語、つまり別の方言を話すような種族がいます。たとえば、小アンティリのカリブ人です。カリブの元首は原語を覚えて置く女性を除いて、すべてを絶滅させたそうです。ロチェフォト氏は(Histoire naturelle et morale des Iles Antilles, 1665)カリブ人の男性独特の成句がたくさんあると書いています。女性はその成句がわかりませんがいつもはつかいません。逆に女性独特の成句もあって、男性はその成句は使いません。だから、会話する時、女性語は男性語と違うそうです。その理由はカリブ人が小アンティリに来た時、そこにアラワクの種族が住んでいましたが、カリブ人は結婚するつもりを女性を除いて、男性のすべてを絶滅させてしま

いました。アラワク人の女性は原語を覚えて置いて、むすめに教え、むすこはカリブ人のお父さんの言語に適合したということが考えられます。ロチェフォト氏は男性語と女性語がまったく違う言語があるとは思いませんでした。代わりに同じ言語の中に独特の違いがあるのだと思いました。血族の名称に関して男性語と女性語が大きく違います。たとえば、「母」や「父」などです。また身体に関する表現も違います。

しかし、男性語も女性語も同じように変化したので男性語と女性語は文法については共通しています。

ii. 禁忌 (Tabu)

言葉の禁忌は世界中にある習慣です。特別の言葉は特別の事情の時に言わなくてはなりません。例えば、悪い結果が起こると迷信的に信じるからです。だから、禁忌の言葉の代わりにほかの言葉を使ったり禁忌の言葉を別の言葉にいいかえなければなりません。

言葉の禁忌はカリブの文化では普通の習慣でした。戦争の時に女性が習わなくてもいい言葉がたくさんありました。戦争をよくしたので、男性独特の言葉が多くなってきました。その結果、かんさつ者は男性語と女性語が大きく違っていると記述することになります。

iii. 言葉の争い (Competing Languages)

文明国にも男性語と女性語の違いがあります。アメリカへ移住したドイツ人とスカンジナビア人は男性のほうが女性よりも英語で話す人々との交際が多いので、男性のほうが家にとどまる夫人より英語を習う機会が多いようです。

iv. サンスクリットの演劇 (Sanskrit Drama)

インドの演劇では女性はブラクリット語で話しますが男性はサンスクリット語で話します。その理由はサンスクリット語は神の言語です。高位高官の男性と宗教的に重要なわずかな女性だけがサンスクリット語を使ってもかまいません。一方で下等な男性とほとんどの女性はブラクリット語をつかいます。しかし、サンスクリット語とブラクリット語の違いは位相の違いです。

v. 保守主義 (Conservatism)

言語学的に言えば、一般的に女性のほうが男性より保守的で、両親から教わった原語を守ります。一方、男性は外向的なために革新的な面をもっています。

しかし、日本では女性のほうがあまり保守的ではないようです。

vi. 音声と文法 (Phonetics and Grammar)

現在の英語では音声学の観点から見ると男性語と女性語はまったく違いはありません。

vii . 言葉の選択 (Choice of Words)

女性は粗野な表現、特にののしりを使うのをさけます。その上、特別な体の部分や機能を言うのはずかしがります。そこで、婉曲語法やパラフレーズが新たに作られます。

男性は多く皆がつかいふるした言葉について好ましく思わないものがあり、代わりに新しい言葉と表現を使い始めます。そこから、男性の方が言語の主要な革新者になっているといえます。

viii . 語彙 (Vocabulary)

女性の語彙量のほうが男性よりずっと少ないです。女性はよく知っている言葉を使って、新しい言葉を使うのをさけます。男性は新しい言葉と表現を女性よりも発明することが多いです。

女性のほうが男性より言語学的にいえば、すべての点において速いといえます。すなわち、速く学び、速く聞き、速く答えます。

ix . 副詞 (Adverbs)

女性は誇張法を使うのが好きです。強調の副詞をよく使い、もとの意味を無視することが多いといえます。

x . 文の句切り方 (Periods)

一般的に女性は並列表現をよく使いますが男性は従属表現をよくつかいます。

xi . 一般的な特性 (General Characteristics)

女性のほうが語彙量が少なく、特定の語彙を集中的に使用するので、会話における反応が一般的に男性より速いということが認められるようです。

以上のようにイエスペルセンは、男性語と女性語の一般的な違いについて、言語学的に分析し、その重要な特徴を論じた。

以下の考察の基礎としてとらえておくことにする。

3 . ニュージーランドの男性語と女性語

はじめに私の母語について見ることにします。

a. 大学生の男性語と女性語の違いについて

大学生の男性語と女性語を比べた場合、あまり違いません。けれども、一番大きく違うのは俗語を使うことです。

俗語には卑語や口語的表現などが含まれています。

男性のほうが女性より俗語をよく使います。その上、男生と男性とが会話をする時、俗語がよく使われます。スポ - ツや女性などについて話す時、俗語を使います。たとえば、男性は美しい女性を表現するために「フォーア」(phwoar) を使います。すなわち、「彼女は大変フォーアだよ。」(She is mighty phwoar!) しかし、私は女性が「フォーア」と言うのを聞いたことがありません。

卑語は女性はほとんど使うことはありません。

仲が良い友達として相手と呼ぶ場合、よく俗語を使います。たとえば、男性は「フレンド」の代わりに俗語の「メイト」(mate) を使います。すなわち、「フレンドの家に行った」(I went to my friend's place) の代わりに「メイトの家に行った」(I went to my mate's place) と言います。その上、友達に話し掛ける時、友達の名前の代わりに「メイト」もよく使います。すなわち、「こんにちはマイクさん」(Hey Mike) の代わりに「こんにちはメイト」(Hey mate) と言います。女性も「メイト」を使いますが、男性のほうがよく使います。

b. 家庭の父と母の会話で、どこがちがうか。

父親と母親の会話では、違いがあまりありません。

ニュージーランドでは男性と女性は平等の権利をもっています。女性はとくにいていねいな言葉を使う必要はありません。

私の両親はカメラ屋の所有者です。二人は一緒に働き、同じお客を相手にします。仕事では父親の話す言葉と母親の話す言葉はあまり違いません。

しかし、仲の良い友だちと呼ぶ場合、違いがあります。たとえば、母は女の友だちについて話す時「フレンド」の代わりに「ガールフレンド」を使います。父はその場合に「ガールフレンド」は使いません。理由は男性には「ガールフレンド」とは女性の恋人のことです。代わりに「フレンド」を使います。父は男の友だちについて話す時「フレンド」の代わりに「メイト」を使います。また、友だちに話し掛ける時、友だちの名前の代わりに「メイト」もよく使います。母は「メイト」をほとんど使うことはありません。

4 . 日本語の男性語と女性語

新日本語の基礎 II. 復習ビデオ、レファレンス

以下に、その中の1)宝くじ、2)今日から社会人、3)冬美がんばるの例文を引用してみると次のようである。

1)宝くじ

冬美： わたしは、着物が欲しいなあ。これだったらあまり高くないし。。
秋彦： だめだよ、そんなの。冬美しか着られないよ。車だよ、車。見て、これ。あまり高くないし、デザインもいいし、それに家族みんなで乗れるよ。ね、お父さん！
春男： うん。今乗っているのはもう古いしな。
時造： 夏江さんは？
夏江： わたしですか。
時造： そうだよ、夏江さんが買った宝くじなんだから。
夏江： そうですね。。
わたしは家族で旅行したらいいと思うんですが。。
ハワイはどう？
秋彦冬美： ハワイ！
春男： ハワイ。
時造： うーん、ハワイねえ。。

2)今日から社会人

女性の声： ずいぶん頑張っているわね。
秋彦： さ、斉藤さん。
斉藤： 遅くまで大変ね。
秋彦： いえ、朝からいろいろまちがえてしまって。。
斉藤： 大丈夫。だれでも初めから、うまくできないわ。一つ一つ覚えればいいのよ。
秋彦： いや。。でも。。
斉藤： 小野君なら、できるわよ。
あら、そのカタログなら、いいのがあるわ。これを見ながらやれ??
簡単よ。はい。
秋彦： わあ、ありがとうございます。
斉藤： あまり、無理をしないで、早く帰ったほうがいいわよ。
秋彦： はい。
斉藤： ねえ、今度の金曜日、よかったら、いっしょに食事に行かない？

秋彦： は。。。はい！

3) 冬美がんばる

秋彦： ほんとうに大丈夫？

簡単にできる物でいいよ、パンとか、コーヒーとか。

朝は忙しくて、慣れないことをするのは大変だぞ。

冬美： だから、今から準備しておくの。

秋彦： 朝からまずい物を出されたら、一日気分が悪いからなあ。パンとか

コーヒー、それに卵でいいよ。

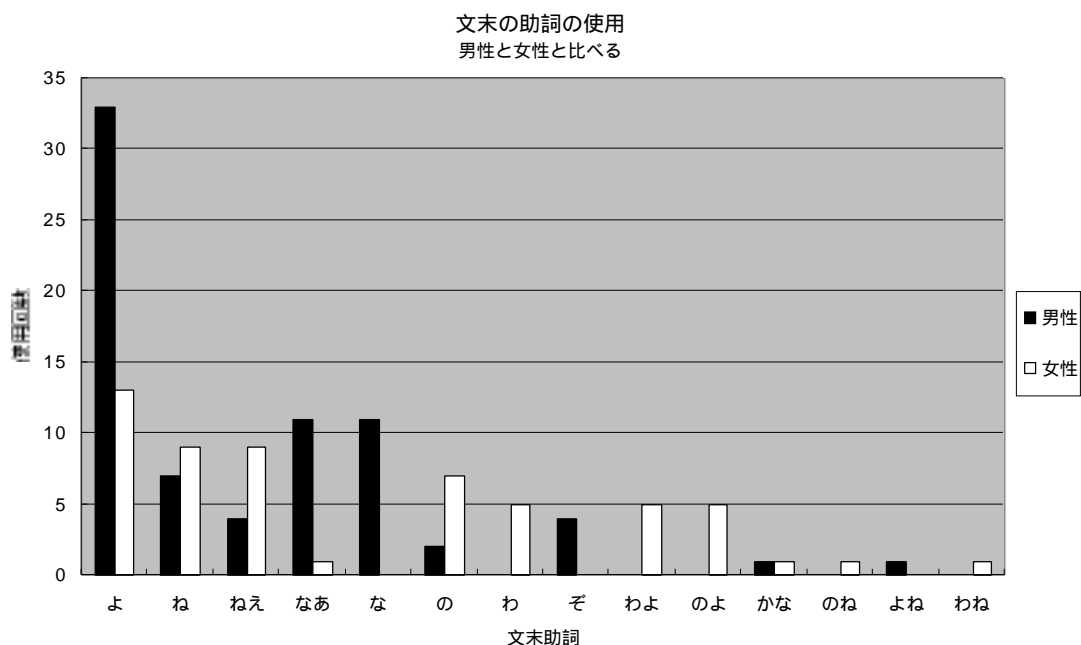
冬美： うるさい！！

(以下は省略する)

使われている文末の助詞をまとめて表にすると次のようになる。

第1—5 (トータル)

| | よ | ね | ねえ | なあ | な | の | わ | わよ | のよ | ぞ | かな | のね | よね | わね | T |
|---|----|----|----|----|----|---|---|----|----|---|----|----|----|----|-----|
| 男 | 33 | 7 | 4 | 11 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 74 |
| 女 | 13 | 9 | 9 | 1 | 0 | 7 | 5 | 5 | 5 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 58 |
| T | 46 | 16 | 13 | 12 | 11 | 9 | 5 | 5 | 5 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 131 |



以上の実際の発話によって、女性と男性との言葉づかいで違っている点を指摘すると次のようになる。

文末の表現について

使用されている文末助詞は次のようなものである。

1. よ
2. ね、ねえ
3. な、なあ
4. わ、わよ
5. ぞ
6. の、のー

男性と女性が同じ文末助詞を使う。例えば「よ」「ね」「ねえ」「なあ」「なあ」などである。

女性は「わ」「わよ」を使い、男性はこの文末助詞を使わない。

男性のほうが女性より「よ」をよく使う。

男性だけが使う文末助として「ぞ」が見られる。例えば次のような言い方である。

(おじいさんの言葉)「買っておいてもすぐに出せなければ約にたたないぞ！」

(お兄さんの言葉)「朝は忙しくてなれないことをするのはたいへんだぞ。」

この「ぞ」という文末助詞はニュージーランドで学習した日本語のテキストには全く出てこなかったもので、初めて聞いておもしろく感じた。テキストに出でこないのには理由がある。この「ぞ」は、ひじょうに親しい間の会話にしか使われないものであり、家族の中で、父が子供へ向かって言う場合とか、友達に使う場合でも本当に親しい友達にしか使えない文末助詞である。うちとけた、らんぼうな言葉づかいに入るので、普通の会話に使われるものではない。だから、教科書には出てこないのである。

これらの会話が現在の日本語の普通の会話だとすると、女性特有の文末助詞は「わ」、男性特有の文末助詞は「ぞ」であるということができる。

次に文末の表現以外について

1) 自分を言う言葉

わたし、あたし、

この言い方は大体女性しか使わない言葉づかいである。

男性は自分について普通何も使わないようである。

男性が自分のことを言った例が会話の中に出てこなかったが、普通は「ぼく」を使うよう

である。

2) らんぼうな言葉づかい。

ラフな言葉づかいは女性はほとんど使わない。上の会話の例では、男性が「うまい」を使っている。これは「おいしい」という言葉のラフなもので、男性がつかっている。このような例は日本語にかなり見られる。

3) 「ラフ」な言葉づかいの例としては次のようなものがある。

| 語例 | 男性 | 女性 |
|--------|------------|---------|
| わたし | わし, ぼく, おれ | うち, あたし |
| あなた | おまえ | あんた |
| おいしい | うまい | |
| お腹がすく | 腹がへった | |
| これを食べる | これ食う | |
| 彼 | あいつ | |

5 . まとめ

言語の歴史においては男性語と女性語には違いがありました。その違いが起こったのはいろいろな理由によります。しかし、基礎的な理由はほとんどの文化に起こる男生と女性の社会的な地位の違いによります。その違う地位のせいで男性語は女性語と別の方向に展開して行きました。昔には違いが大きかったが、現在では違いがあまり大きくはありません。

ニュージーランドの男性語は女性語とあまり違いませんが、日本語には性別によって特有な言葉や文末助詞にいろいろな違いがあります。

性別の特有な言葉は普通俗語や略式な場合に使われます。男性だけに使われる言葉のほうが女性だけに使われる言葉より多いです。

文末助詞に関してはある助詞は特定の性別だけに使われ、またある助詞は特定の性別のほうによりよく使われるものがあります。

日本語の男性語と女性語の違いは一方では日本語の習得を難しくしますが、他方では日本語への興味がもっとわいてきます。